

解答

一

問一 深雪、茉里、千博、真吾の四人が、学校で、文化祭に展示するための年表を、おそらくまでかかって完成させたこと。

問二 数ヶ月間一緒に年表作りをしていて、深雪は他の三人の意外な一面を知つて驚き、親しくなつて、協力して年表作りに取り組んだことが楽しかった。

問三 イ、オ

十月の朝の

(2) (1) みんなで完成させた年表が破られていたのを見つけて怒りがわき、早朝教室から出でていった人影に疑いを持って追いかけたところ、見覚えのある髪とめ用のピンが落ちていたため、このピンの持ち主が年表を破つたのではないかと思つたから。

問五 年表を破つたのは栗坂美希だということを確認するため。

ウ 年表を破いたことは、泣いて許されるようなことではないという怒りとくやしさをこらえている気持ち。年表を破いてしまつていたの。

(「年表作成第二弾」という案に) 賛成(する気持ち)

深雪は、年表を破いた美希を問い合わせ、怒りをぶつけることだけを考えていたのに對し、茉里や真吾たちは、美希を許し、もう一度年表を作り直そうという前向きな気持ちを持っていたから。

問十一 1 オ 2 ア

問十二 ウ

ア くちょう イ 提案 ウ 合唱 エ 現「れた」 オ 窓

二

③ ② ①
ア ア ア
週刊 暖 並行
イ イ イ
習慣 平行

二

解説

一

問十

深雪は、「破られた年表を見つけた時、終わつたと思った。・・怒りがあつた。・・怒りをぶつけることだけを考えていたような気がする。」とあるが、「茉里のよう、美希を許すこととも、真吾のようにもう一度、作り直すこととも、考えもしなかつた。かつこいいな。ふいにそう感じた。」とあります。